

長居公園～住吉大社初詣

(第 91 回くらわん会 2004/01/06)

「明けましておめでとうございます。今年も元気に歩きましょう！」原会長の明るい挨拶で2004年のくらわん会がスタートしました。

難波の長い長いトンネルから出ると、そこは街の中に大きく開けたオアシス、長居公園であった。147人もの元気な顔が揃い、輪ができて新年の挨拶が交わされる。本日は寒の入、小寒で、雲が多く時々太陽が顔を出す冬らしい天気である。

長居公園入り口の花壇のある噴水前に勢ぞろいし朝会が始まる。本日のリーダーは佐々山副会長、市中を歩くので注意事項も多く詳しい案内と説明がある。

大阪市民に愛され親しまれている長居公園、長距離走路には、リタイヤした我々の仲間に加えて、新春ともあって運動部らしき生徒、学生たちも含めて歩く人、ランニングする人、あるいは自転車で走る人など盛況である。そんな人たちに負けじとわれわれも元気良く出発する。歩き出すと寒さも忘れる。

1960年から大阪市によって本格的に造成されたこの公園は広さが70.48haもあり、長距離走路は周囲4kmにもなっている。公園の中は、植物園地区、運動施設地区、自然園地区に分かれている。数々のスポーツイベントやJリーグの、あるチームの本拠地として良く知られているのは陸上競技場などの運動施設であるが、今回訪れた植物園や自然園地区もなかなかのものである。

長距離走路をほぼ3/4周した一行は今日の第一の目的地長居植物園に入場する。65歳以上は200円の入場料が無料とあって、該当者は保険証の写しなどを提示して入場する。(保険証のコピーは常にリュックに入れておいてください) 24haもあるこの植物園、今はオフシーズンであるが、大きな池や噴水などがあり、葉牡丹・水仙・菜の花・パンジーなどが目を楽しませてくれる。

約2時間をとって思い思いに散策を楽しみ、休憩小屋や木のベンチで少し早い時間に昼弁当を広げる。太陽も顔を出して思ったほど寒くはない。

明けましておめでとうございます。今年も元気に歩きましょう！原会長の明るい挨拶で二〇〇四年がスタート

一九六〇年から大阪市の造成を始めた長居公園は広さが70.48haもあり、周囲4kmある長距離走路を元気良く出発

長居公園の長距離走路をほぼ3/4周歩いて植物園に到着

花と緑と自然の情報センター側から植物園に入園、65歳以上の証明があれば無料





長居植物園に入ると大花壇の鮮やかな花々が出迎えてくれた



夏にはすばらしい緑と花が咲き乱れるスイレンの池、噴水の向こうに鮮やかな虹色に塗り分けられた橋



今が旬の水仙の花があちこちに咲いてい



何故か門は閉められていたが、よく手入れされた正門の花壇

池ではカルガモの群れが私達を迎えてくれる。食事を終えた一行は、花と緑と自然の情報センターに入場する。大阪の地理・動物・植物などの自然の展示も価値があるが、ほぼ全員の関心を集め人盛りができたのは、フロア一面に敷き詰められた淀川流域の航空写真、写真の中の我が家探しと相成った。集合時間になっても離れない人もいて大変な人気であった。「良い季節にもう一度来たいなあ！」そんな声を残しながら次の目的地を目指した。

住吉大社までは長居公園通りを一直線である。歩道には一般の歩行者、自転車なども通っているので、2列になり進む。信号待ち、開かずの踏み切りもあって長い列ができる。途中より住吉の町に入り昔の熊野街道を通して生根神社、大海神社にお参りした後、第二の目的地住吉神社に到着する。

お祓い、航海安全、和歌、農耕の神様で、全国2300余社の住吉神社の総本宮であり、毎年200万人以上の初詣で客を集める住吉大社、今日は三が日も終わり平日とあって境内は静けさを取り戻しつつある。

第一本宮から順に第四本宮までお参りする。会員の皆さんはどんなお祈りをしたのだろうか？あるいは、この日本が長いトンネルを抜けて明るく安全な国になることをお祈りしたのだろうか？参拝の後、太鼓橋とも呼ばれる反橋（そりばし）で休憩と、思い思いの記念撮影を行う。昔はこの橋の近くまで大阪湾の波が押し寄せていたという。

住吉大社を後にして、今なお路面電車（阪堺電軌阪堺線）が走る道を横断して住吉公園に到着し、一旦解散した。その後、大半の会員は公園を横切って、わが国の灯台の先駆けといわれる高灯籠を見学した。

“元気良く歩けるのが一番の幸せ” 本年も積極的なご参加を！！

杉浦義次記



花壇の見事な色彩を前に昼食と思っ
たら枯れ果てて気づかなかったが、
此処も花壇の中で慌てて退散

池の奥の芝生広場で少し早めの昼食を
とる



花と緑と自然の情報センターには大阪
の自然の展示、フロアに敷かれた淀川
流域の航空写真の中で我が家探し

長居公園から濱に向かって、住吉の
町並みを歩く



大阪城から続く熊野街道にある住吉名
物の味噌屋「池田屋」

何故か赤穂浪士の墓がある一運寺が熊
野街道にある



生根神社は、住吉の摂社で大海神社の
「奥」にあるため、「奥天神社」と呼ば
れていた

記紀に海宮に赴き出会った父神と娘
神の2神(豊玉彦命と豊玉姫命)の伝
説があり、大海神社は、その舞台





住吉大社には手前から第一本宮、第四本宮まである

神功皇后の新羅遠征の時、住吉大神が現れてその加護により国威を発揮、戦勝と海上交通安全を祈って祀らせた



反橋（太鼓橋）といわれ、毎年初詣の参拝客が三ヶ日で300万人がこの橋を渡る、慶長年間淀君が奉納

住吉鳥居とよばれているもので、柱の断面が通常の鳥居のような円形でなく、方形であり珍しい



阪堺線（えびす町〜浜寺公園）間は、チンチン電車が走っている（住吉鳥居前）

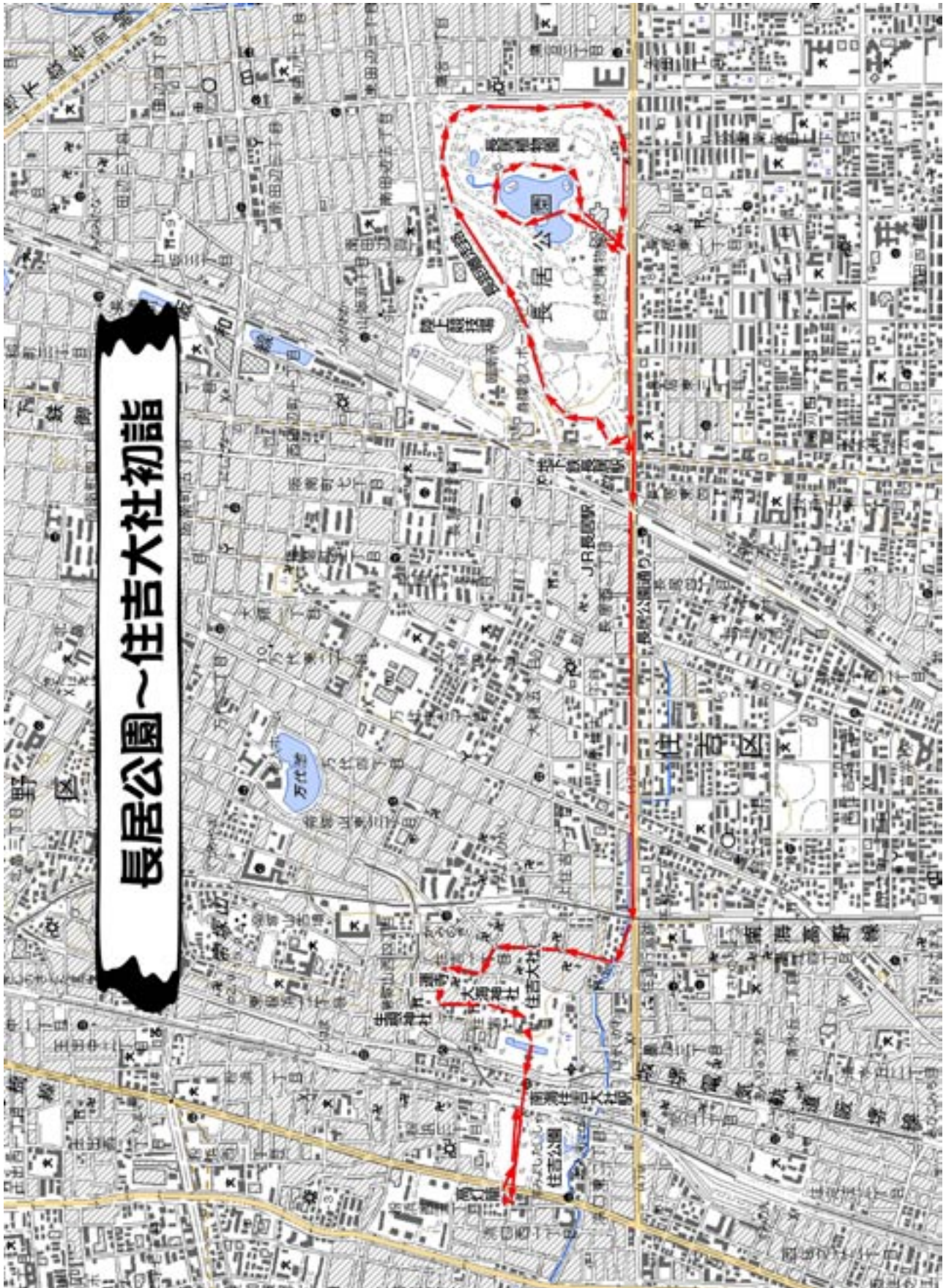
南海電車住吉公園駅が高架になったときに住吉大社駅に改名された



明治6年に公園に指定された大阪で最も歴史のある公園、公園中央部を通る潮掛道はかつて住吉大社の参道、ここで一散、殆どの人がこのあと公園を抜け高灯籠まで歩いた

鎌倉時代末期に住吉大社への献灯として建てられた日本最古の灯台、現在の灯台は昭和49年に復元されたもので26mある





<行程>

地下鉄御堂筋線長居駅⇒長居公園長距離走路⇒長居植物園⇒長居公園通り⇒生根神社⇒大海神社⇒住吉大社⇒住吉公園（一次解散）⇒高灯籠⇒南海住吉大社駅 約7 km

2004年01月06日（火）第91回例会 147名参加